商　品　仕　様　書

本仕様書　適用品番・品名

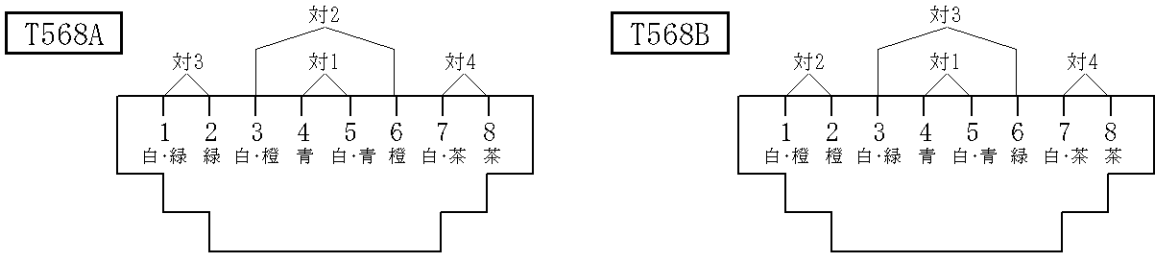
品　番	品　　名
NR3321149	電線管工事用アップコンセント（丸型）（CAT5E）

1．型式

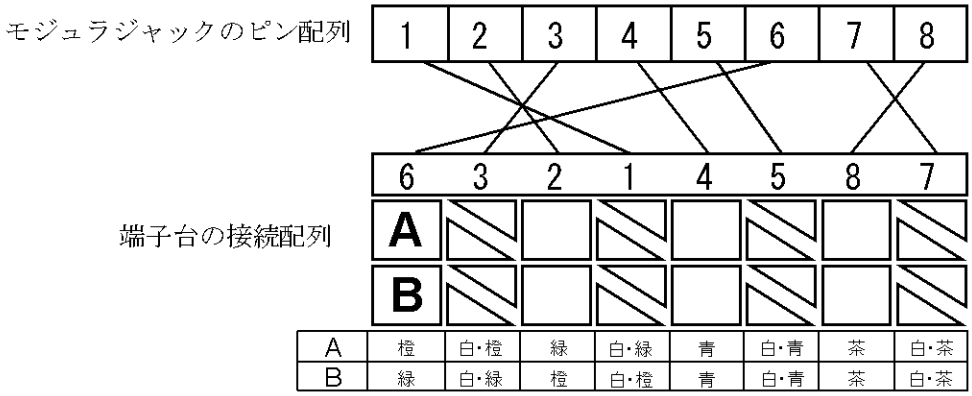
1－1　極数及び極配置

モジュラジャック：８極８心

［IEC60603-7に規定される形状の8極固定コネクタ（8極モジュラジャック）］



＜アップコンセント内部にてモジュラジャックと端子台は下記のように接続されています＞



A	橙	白･橙	緑	白･緑	青	白･青	茶	白･茶
B	緑	白･緑	橙	白･橙	青	白･青	茶	白･茶

2．保証品質

2－1　形状及び材質、色彩は商品仕様図による

2－2　性能

・測定環境は特に指定のない限り温度（15℃～35℃）、相対湿度（25%～75%）気圧（86kPa～106kPa）とする。
・性能は、次の各項目に適合

絶縁抵抗	コンタクト間　100MΩ以上（500 V DC）
耐電圧	コンタクト間　1000 V DC or AC-peak　1分間 コンタクトと外かく間　1500 V DC or AC-peak　1分間
入出力間抵抗	200mΩ以下（モジュラコンタクト部とIDC端子を含む）
挿抜回数	RJ45モジュラプラグの挿抜　750回
耐熱性	70℃　7時間

2－3　準拠規格

(伝送性能)

(1)　TIA/EIA-568-B.2 category 5e
(2)　ISO/IEC 11801:2002 category 5 / class D
(3)　JIS X 5150:2004 カテゴリ５／クラスD

2－4　伝送性能

＜代表的周波数の特性値＞

周波数 (MHz)	挿入損失 (IL) (dB)以下	近端漏話減衰量 (NEXT) (dB)以上	遠端漏話減衰量 (FEXT) (dB)以上	反射減衰量 (RL) (dB)以上
1.0	0.1	65.0 (80.0)	65.0	30.0
4.0	0.1	65.0 (71.0)	63.1	30.0
8.0	0.1	64.9	57.0	30.0
10.0	0.1	63.0	55.1	30.0
16.0	0.2	58.9	51.0	30.0
20.0	0.2	57.0	49.1	30.0
25.0	0.2	55.0	47.1	30.0
31.25	0.2	53.1	45.2	30.0
62.5	0.3	47.1	39.2	24.1
100.0	0.4	43.0	35.1	20.0
規格	IL≦0.04√f(dB) (1≦f≦100(MHz)) ※式の値が0.1dB未満の ときは0.1dBとする。	＜TIA/EIA＞ NEXT≧43－20log(f/100) (dB) (1≦f≦100(MHz)) ※式の値が65dBを越える ときは65dBとする。 ＜JIS,ISO/IEC＞ NEXT≧83－20log(f)(dB) (1≦f≦100(MHz)) ※式の値が80dBを越える ときは80dBとする。	＜TIA/EIA＞ FEXT≧35.1－20log(f/100) (dB) (1≦f≦100(MHz)) ※式の値が65dBを越える ときは65dBとする。 ＜JIS,ISO/IEC＞ FEXT≧75.1－20log(f)(dB) (1≦f≦100(MHz)) ※式の値が65dBを越える ときは65dBとする。	＜TIA/EIA＞ RL≧30(dB) (1≦f＜31.5(MHz)) RL≧20－20log(f/100)(dB) (31.5≦f≦100(MHz)) ＜JIS,ISO/IEC＞ RL≧60－20log(f)(dB) (1≦f≦100(MHz)) ※式の値が30dBを越える ときは30dBとする。

３．環境条件

3－1　使用条件

(1) 住宅、事務所などの屋内で使用してください。
(2) 過酷な取扱いを受ける作業所、水気のある場所、屋側、屋外などでは使用しないでください。

3－2　使用周囲温度範囲　　－10℃～＋40℃

４．施工方法

4－1　適用ケーブル

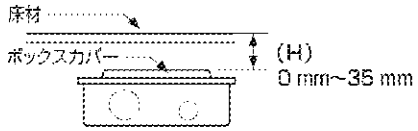
AWG22～24（φ0.5mm～φ0.65mm）単線のＣＡＴ５Ｅ対応ＵＴＰケーブル

（注）適用ケーブル以外は、使用しないでください。
誤って使用しますと、接続不良の原因になります。

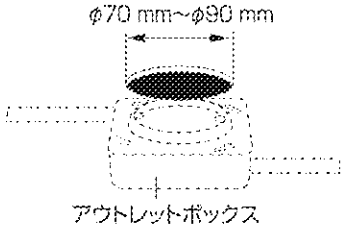
4－2　適合ボックス・カバー

ボックス：中型四角アウトレットボックス（DS3744またはDS3754）
カバー　：中型四角丸穴13mmカバー（取付ネジ　間隔66.7）（DS4311）

※取付可能な埋込深さは、0 mm以上 35 mm以下です。
この範囲内に埋込深さを設定してください。



※取付用下穴は、70mm～90mmの丸穴を開けて
ください。

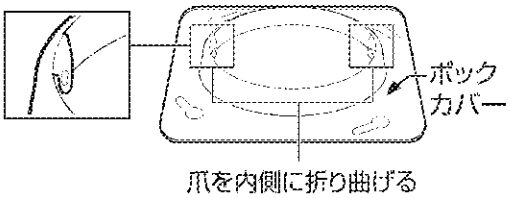


4－3　取付方法

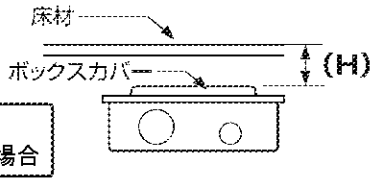
「はさみ込み固定」と「ねじ止め固定(直付け)」の
どちらかの方法でアウトレットボックスに取り付けます。

4-3-1　はさみ込み固定の場合

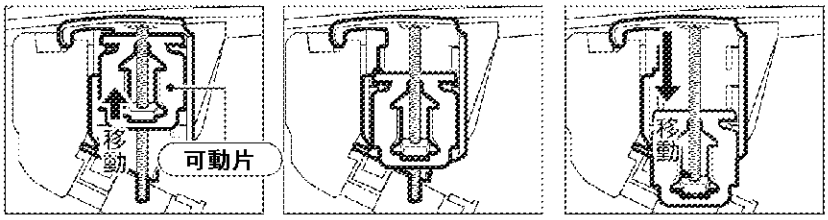
①　ボックスカバーの爪を内側に充分に折り曲げる



②　床から埋め込まれたボックスカバーまでの埋込深さ（H）
を測定し、可動片を深さに合わせて移動させる。

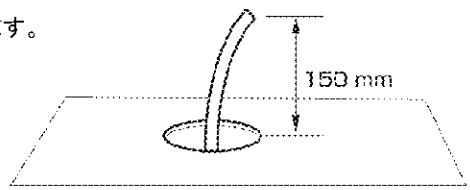


埋込み深さ(H) 12 mm～25 mmの場合	埋込み深さ(H) 15 mm～30 mmの場合	埋込み深さ(H) 30 mm～40 mmの場合
可動片を一番上に移動させる	工場出荷時の 状態で施工	可動片を一番下に移動させる



注意! ゴム輪ははずさないでください。
はずすと可動片が不安定になり、施工がやりにくくなります。

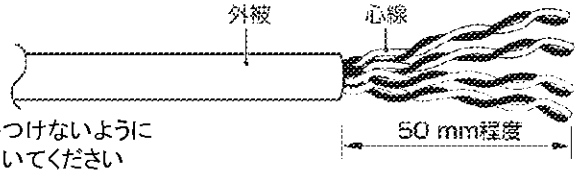
③　ケーブルを床面上約１５０mm引き出す



品番	NR3321149	品名	電線管工事用アップコンセント(丸型)(CAT5E)	改	

④　結線する

① ケーブルの外被をむき、心線を 50 mm程度出す
適用ケーブル: AWG 22～24 (φ0.5 mm ～ φ0.65 mm)

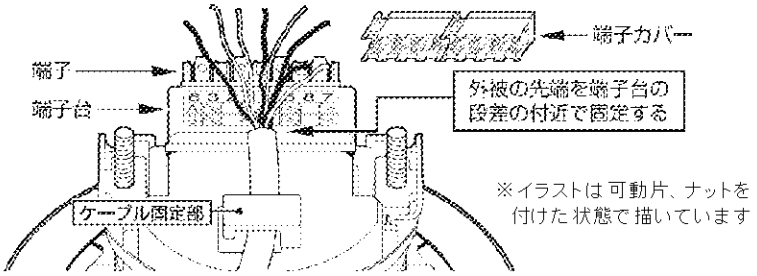


注意! 心線を傷つけないように外被をむいてください

② 端子カバーをはずし、心線を端子に仮止めする

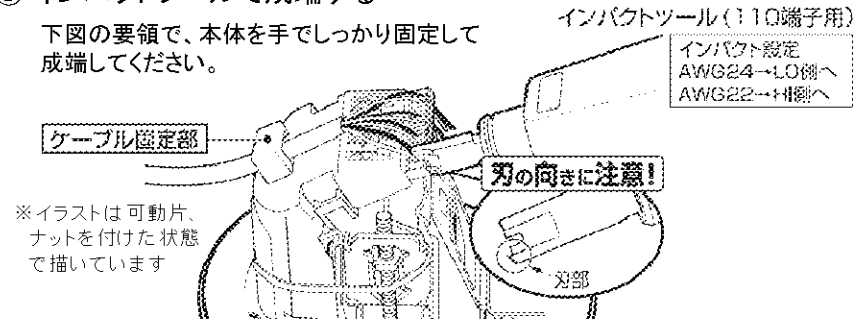
端子配列

	6	3	2	1	4	5	8	7
T568A	橙	白-橙	緑	白-緑	青	白-青	茶	白-茶
T568B	緑	白-緑	橙	白-橙	青	白-青	茶	白-茶

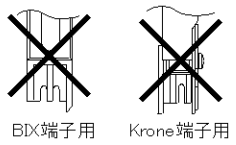


③ インパクトツールで成端する

下図の要領で、本体を手でしっかり固定して成端してください。



ご注意



このようなブレードのツールは使わないでください。

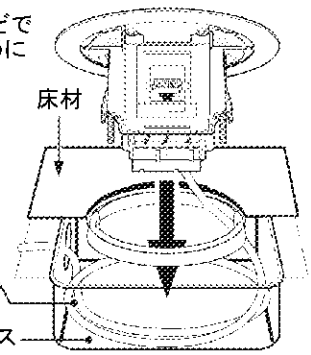
はみ出した心線はインパクトツールの刃でカットされます。

注意!
- ●インパクトツール(110端子用)は当社製 NR2470 又は同等品をお使いください。
- ●ケーブル固定部を床などに接触させた状態で成端しないでください。
  ケーブル固定部が破損するおそれがあります。
- ●インパクトツールの刃の向きに注意して成端してください。
- ●成端後は端子カバーを装着してください。

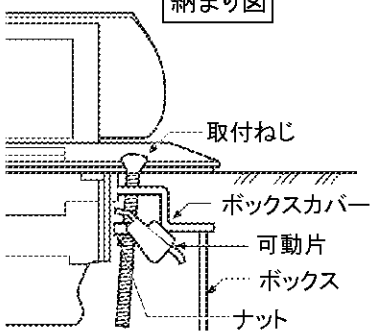
⑤　コンセントを収納した状態で、アウトレットボックスに収める

注意! ボックスカバーの縁などでケーブル外被を傷付けないようにしてください

注意!
ケーブルは本体の真下部に集めないように、ボックスの端の方に押し広めながら穴に沿って円を描くように収めてください

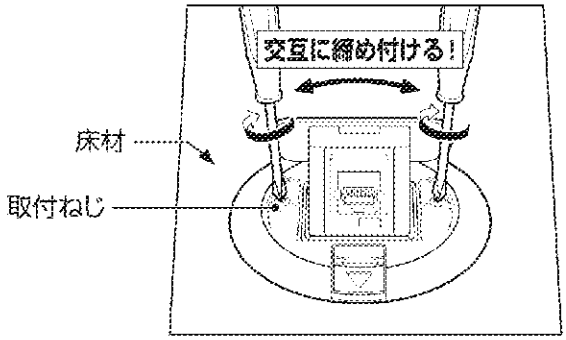


納まり図



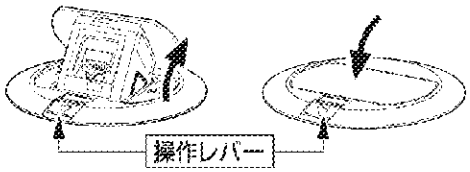
品番	NR3321149	品名	電線管工事用アップコンセント(丸型)(CAT5E)	改	

⑥　コンセント部を飛び出させ、取付ねじを交互に締め付ける



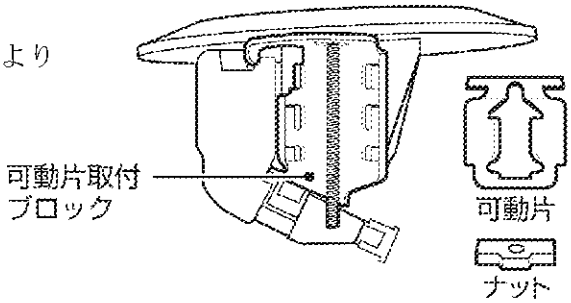
⑦　動作確認をする

操作レバーを手前にスライドさせ、コンセント部の収納、飛び出しおよび各動作後、確実（堅固）に固定されているか確認してください。

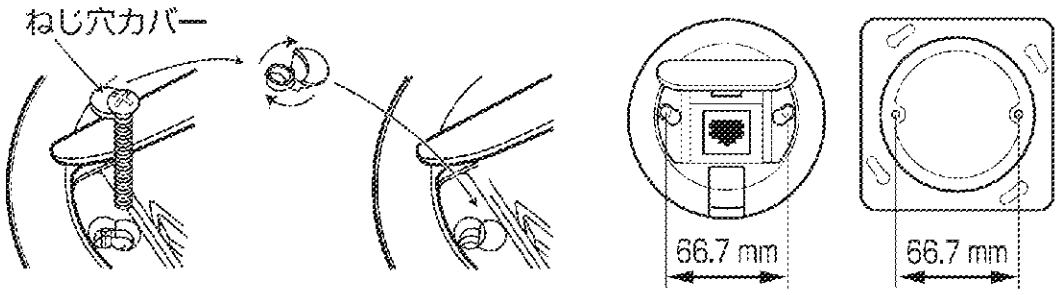


4-3-2　ねじ止め固定（直付け）の場合

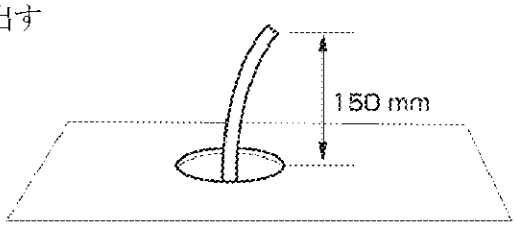
①　ゴム輪をはずし可動片取付ブロックより可動片とナットを取り外す



②　取付ねじを取り外し、ねじ穴カバーを取付ねじより外して、内側の穴に取り付け、取付ねじは外側の穴に通す



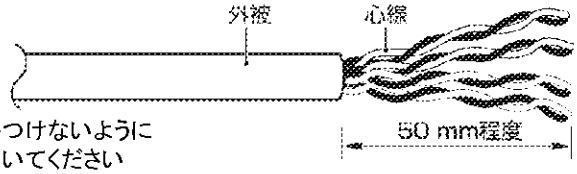
③　ケーブルを床面上約１５０mm引き出す



品番	NR3321149	品名	電線管工事用アップコンセント(丸型)(CAT5E)	改	

④　結線する

① ケーブルの外被をむき、心線を 50 mm程度出す
適用ケーブル: AWG 22～24 (φ0.5 mm ～ φ0.65 mm)

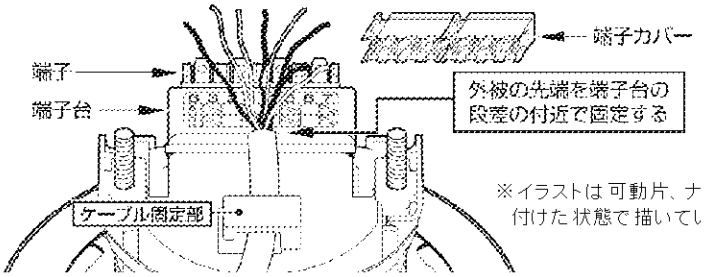


注意! 心線を傷つけないように外被をむいてください

② 端子カバーをはずし、心線を端子に仮止めする

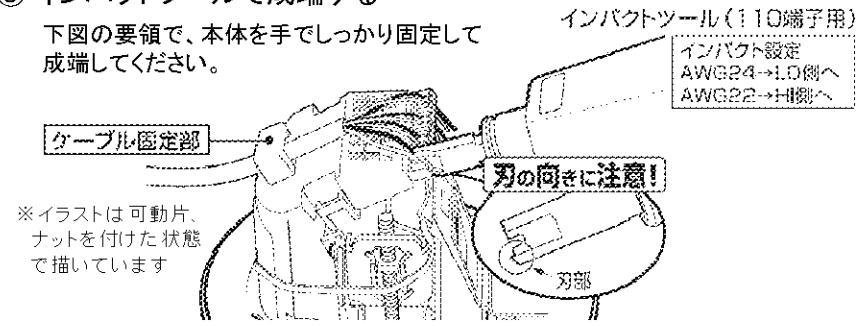
■端子配列

	6	3	2	1	4	5	8	7
T568A	橙	白-橙	緑	白-緑	青	白-青	茶	白-茶
T568B	緑	白-緑	橙	白-橙	青	白-青	茶	白-茶

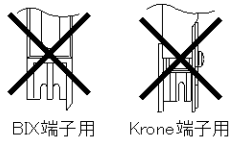


③ インパクトツールで成端する

下図の要領で、本体を手でしっかり固定して成端してください。



ご注意



このようなブレードのツールは使わないでください。

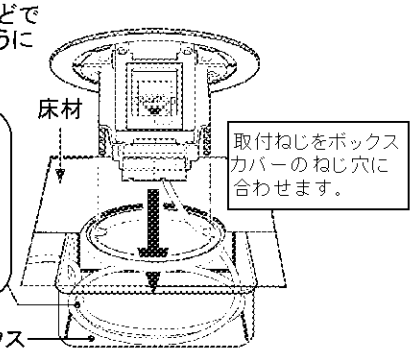
はみ出した心線はインパクトツールの刃でカットされます。

注意!
- ●インパクトツール(110端子用)は当社製 NR2470 又は同等品をお使いください。
- ●ケーブル固定部を床などに接触させた状態で成端しないでください。
  ケーブル固定部が破損するおそれがあります。
- ●インパクトツールの刃の向きに注意して成端してください。
- ●成端後は端子カバーを装着してください。

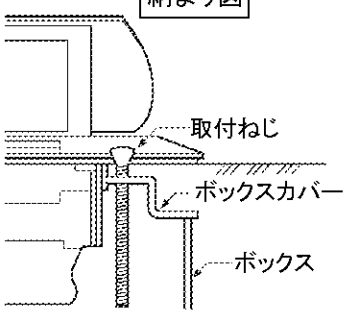
⑤　コンセント部を収納した状態で、アウトレットボックスに収める

注意! ボックスカバーの縁などでケーブル外被を傷付けないようにしてください

注意!
ケーブルは本体の真下部に集めないように、ボックスの端の方に押し広めながら穴に沿って円を描くように収めてください

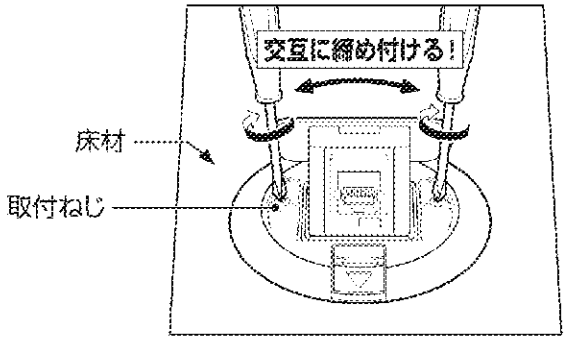


納まり図



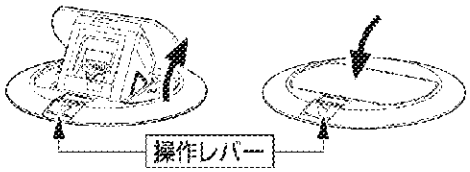
品番	NR3321149	品名	電線管工事用アップコンセント(丸型)(CAT5E)	改	

⑥　コンセント部を飛び出させ、取付ねじを交互に締め付ける



⑦　動作確認をする

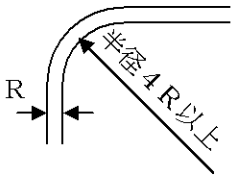
操作レバーを手前にスライドさせ、コンセント部の収納、飛び出しおよび各動作後、確実（堅固）に固定されているか確認してください。



5．施工上及び使用上の注意事項

5－1　施工上の注意事項

(1) VVFケーブルと通信ケーブルは接触しないように配線してください。
内線規程等に適合しなくなるだけでなく、電気機器のノイズが伝送不良を誘発する可能性があります。
(2) 再結線は10回以内にしてください。
(3) 配線時には、ケーブルに張力が加わらないように配慮してください。
また、施工中のケーブルに加えられる張力も極力少なくなるようにしてください。
本体を破損させる恐れがあります。
(4) 通信ケーブル施工時は、ケーブルの被覆を破らないようにしてください。
通信不良を招く恐れがあります。
(5) ケーブルを半径4R以下に曲げて施工しないてください。
伝送特性が低下する原因になります。



(6) 本品を高所から落とさないでください。壊れて使用できなくなる場合があります。
(7) ボックスへの配管は、側面のノックアウトをご使用ください。底面を使用するとアップコンセントが取り付けられなくなります。
(8) モジュラジャックには8極以外のモジュラプラグを差し込まないでください。
モジュラジャックのコンタクトばねを変形させるおそれがあります。

5－2　使用上の注意事項

(1) 本品の汚れは、乾いた布で拭き取ってください。
シンナーで拭いたり、殺虫剤をかけますと、変色したり表面の光沢が損なわれますのでご注意ください。

6．安全確保のための使用上及び施工上の禁止事項

本品の施工は必ず本仕様書の記載内容をおまもりください。

⇩

商品の動作不良の恐れがあります。

7．品質保証について

7－1　保証期間

・本品の品質保証期間は商品お買上げ日（お引き渡し日）より1年間です。

7－2　保証内容

・仕様書、取扱説明書,本体表示等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。

7－3　保証の免責事項

・保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。

(1) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷。
(2) お買上げ後の取付場所の移設,輸送,落下などによる故障及び損傷。
(3) 火災,地震,水害,落雷,その他天災地変及び、公害,塩害,ガス害(硫化ガスなど),異常電圧,指定外の使用電源(電圧，周波数)などによる故障及び損傷。
(4) 車両,船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷。
(5) 施工上の不備に起因する故障や不具合。
(6) 法令,取扱説明書で要求される保守点検を行わないことによる故障及び損傷。